ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2025/03/05 号(As of 2025/03/04)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	公示仲値	149.26

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	149.33	1.0487	156.76	1.2702	0.6216
SYD-NY High	149.87	1.0628	159.12	1.2799	0.6272
SYD-NY Low	148.10	1.0472	155.63	1.2679	0.6187
NY 5:00 PM	149.82	1.0627	158.95	1.2795	0.6272

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,520.99	▲ 670.25	日本2年債	0.8300%	0.0000%
NASDAQ	18,285.16	▲ 65.03	日本10年債	1.4200%	0.0200%
S&P	5,778.15	▲ 71.57	米国2年債	3.9823%	0.0255%
日経平均	37,331.18	▲ 454.29	米国5年債	4.0409%	0.0749%
TOPIX	2,710.18	▲ 19.38	米国10年債	4.2414%	0.0834%
ｼｶｺﾞ日経先物	36,965.00	▲ 355.00	独10年債	2.4795%	▲0.0115%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,759.00	▲ 112.31	英10年債	4.5255%	▲0.0340%
DAX	22,326.81	▲ 820.21	豪10年債	4.2700%	▲0.0590%
ハンセン指数	22,941.77	▲ 64.50	USDJPY 1M Vol	11.60%	0.49%
上海総合	3,324.21	7.28	USDJPY 3M Vol	10.74%	0.22%
NY金	2,920.60	19.50	USDJPY 6M Vol	10.39%	0.06%
WTI	68.26	▲ 0.11	USDJPY 1M 25RR	▲1.76%	Yen Call Over
CRB指数	301.24	0.96	EURJPY 3M Vol	11.10%	0.28%
ドルインデックス	105.74	▲ 1.00	EURJPY 6M Vol	10.85%	0.22%

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は149.33ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。前日のﾄﾗﾝﾌﾟ大統領による弱い円を嫌気する発言を受けてﾄﾞﾙ円は日経の下落を伴いながら売られた。一時148.60を付けたものの2/25の下値148.56を下回らず、その後はﾄﾞﾙの買い戻しが入りやや値を戻して149.37ﾚﾍﾞﾙで海外に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、149.37ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ｸﾛｽ円では大きな動きがない中、米10年債利回りが引き続き下落を続け、ﾄﾞﾙ円も148.10まで売られる。大きく反発することもなく、結局148.24ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は149円台半ばでｽﾀｰﾄ。ﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領の施政方針演説を控える中、同政権が打ち出す関税案等の先行き懸念を背景とした世界株安を受け、148.10まで円買いが進み、その後148.24ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は米政権が対ﾒｷｼｺ、ｶﾅﾀﾞへの関税案を発動した事を受け、世界的な貿易戦争による景気減速懸念が一段と強まり、ﾘｽｸｵﾌﾑｰﾄﾞの中、148.40付近を挟んだ上値重い推移が続く。午後は一部で報道された「米国とｳｸﾗｲﾅが鉱物資源取引を巡り合意に署名する」との速報が伝わると、ﾘｽｸﾑｰﾄﾞが後退し、米株の反発に伴った円売りから149.87まで上昇し、その後149.82ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.04台後半でｽﾀｰﾄ。米金利の低下や、ﾕｰﾛ圏1月失業率が予想程悪化しなかった事を受け、じり高で推移し、1.0553ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は世界経済の先行きを懸念したﾄﾞﾙ買い優勢となり、1.0497まで下落する。しかし、その後「ﾄﾞｲﾂが防衛費増額に向けて債務ﾌﾞﾚｰｷを改革する」との一部報道が伝わると、景気減速懸念が後退し、独金利の上昇を横目に買いが優勢となり、1.0560付近まで反発。午後もﾕｰﾛ高の展開が続き、1.0628まで上値を伸ばし、その後1.0627ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

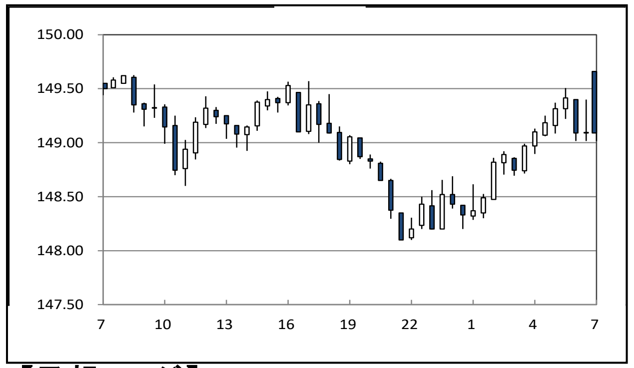
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
3月4日	08:30	日	失業率	1月	2.5%	2.4%
	09:30	豪	小売売上高(前月比)	1月	0.3%	0.3%
	19:00	欧	失業率	1月	6.2%	6.3%
3月5日	04:20	米	ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	「関税はインフレにつながると認識も、不確実性も高い」		

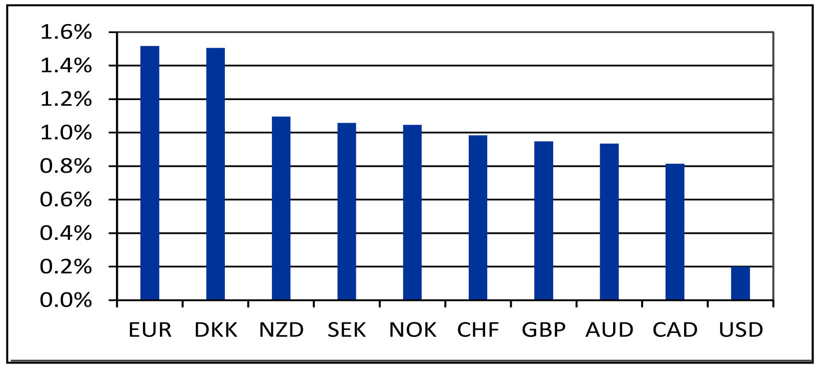
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
3月5日	09:30	豪	GDP(前年比)	4Q	1.3%	0.8%
	10:45	中	Caixin中国PMIコンポジット/サービス業	2月	−/50.7	51.1/51.0
	16:45	仏	鉱工業生産(前月比/前年比)	1月	0.4%/−0.2%	−0.4%/−1.7%
	16:45	仏	製造業生産(前月比/前年比)	1月	0.6%/−	−0.7%/−2.6%
	17:55	独	ｻｰﾋﾞｽ業/コンポジットPMI・確報	2月	52.2/51.0	52.2/51.0
	18:00	欧	ｻｰﾋﾞｽ業/コンポジットPMI・確報	2月	50.7/50.2	50.7/50.2
	19:00	欧	PPI(前月比/前年比)	1月	0.3%/1.3%	0.4%/0%
	22:15	米	ADP雇用統計	2月	140k	183k
	23:45	米	ｻｰﾋﾞｽ業/コンポジットPMI・確報	2月	49.7/50.4	49.7/50.4
3月6日	00:00	米	製造業受注(前月比/除輸送)	1月	1.7%/0.2%	−0.9%/0.3%
	00:00	米	耐久財受注(前月比/除輸送用機器)・確報	1月	3.1%/0.0%	3.1%/0.0%
	00:00	米	ISM非製造業景況指数	2月	52.5	52.8
	04:00	米	ベージュブック		−	

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.00-150.70	1.0500-1.0700	158.00-160.00

【マーケット・インプレッション】

トランプ大統領に振り回される相場が続いている。トランプ大統領がウクライナと鉱物資源のディールで妥協するとの一部報道やラトニック米商務長官からトランプ大統領がカナダ、メキシコに妥協する考えもあるという発言もあり、市場参加者には過度のリスク回避姿勢が弱まると受け止められ、一時148.10まで円買いが進んでいたドル/円は150円近辺まで買い戻された。トランプに振り回されることを嫌いポジションの保有期間を短くする傾向となっており、短期的には円ロングの縮小ということになるであろうがトランプ政権から円安是正を迫られているとの根強い見方は当分ドル/円相場の上値を抑えるだろう。また実需の円売りもそこそこ見られるものの160円に迫ろうとしていた年初と比べるとボトムフィッシングの意欲が明らかに減退している。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:加藤・伊丹